

平成 23 年度 普及に移す農業技術（第 1 回）

[分類] 普及技術

[成果名] カリフラワーのコナガ防除にオンコルマイクロカプセルの定植時灌注が有効である

[要約] カリフラワーのコナガ防除に定植時にオンコルマイクロカプセルの 200 倍液をセルトレイ 1 枚当たり 0.5 リットル灌注する。

[担当] 野菜花き試験場環境部

[部会] 病虫部会

1 背景・ねらい

コナガ類はカリフラワーの生育初期に発生した場合、生長点を加害して欠株になってしまうため、初期の防除が重要となる。定植期の灌注処理により効果が期待できる薬剤を選定するとともに、カリフラワーに対する薬害の有無を検討したところ、有効性が確認されたため普及技術とした。

2 成果の内容・特徴

- (1) カリフラワーのコナガ防除に定植時にオンコルマイクロカプセルの 200 倍液をセルトレイ 1 枚当たり 0.5 リットル灌注する。

農薬登録内容

オンコルマイクロカプセル

[一般名及び成分含量] ベンフラカルブ 20.0%

[毒性] 人畜毒性：劇物 [魚毒性] B-s 類（成分として）

[カリフラワーに対する適用登録状況（平成 23 年 9 月 26 日 JPP-NET 確認）]

| 作物名 | 適用害虫名 | 希釈倍数 | 散布液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数 |
|--------|-------|------|--|------|---------|------|--------------------|
| カリフラワー | コナガ | 200 | セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊（30×60cm、使用土壌約 3 リットル）当たり 0.5 リットル。 | 定植時 | - | 灌注 | - |

3 利用上の留意点

- (1) 軟弱徒長苗では薬害を生じる恐れがあるので使用を避ける。
(2) 高温乾燥期は薬害を生じる恐れがあるので使用を避ける。
(3) 薬剤処理直後の灌水は効果を減ずることがあるので避ける。
(4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

(1) 平成 16 年に野菜花き試験場で実施した試験では、処理（定植）21 日後まで防除効果が認められた。薬害は認められなかった。

表 1 カリフラワーのコナガに対するオンコルマイクロカプセルの防除効果(平成 16 年、野菜花き試験場)

| 供試薬剤 | 希釈 倍数 | 定植 11 日後 | | | 定植 21 日後 | | | 定植 30 日後 | | | 薬害 |
|------------------|----------|----------|---|-------------|----------|---|---------------|----------|----|----------------|----|
| | | 幼虫 | 蛹 | 合計 | 幼虫 | 蛹 | 合計 | 幼虫 | 蛹 | 合計 | |
| オンコル マイクロカプセル | 200 | 0 | 0 | 0 (0) | 5 | 0 | 5 (18.5) | 19 | 2 | 21 (43.8) | なし |
| 無処理 | - | 19 | 0 | 19 (100) | 23 | 4 | 27 (100) | 38 | 10 | 48 (100) | |

注) 数値は 30 株当たり個体数。() 内は密度指数。密度指数 = (処理区密度 / 無処理区の密度) × 100

場所: 野菜花き試験場内(長野市松代)。

耕種概要: 品種「スノークラウン」、定植 6 月 24 日。栽植密度: 畝幅 50cm × 株間 50cm。区制・面積: 1 区 10 m²、40 株、3 連制。

処理: 6 月 24 日(定植当日)にセルトレイ(200 穴)当たり、0.5 リットルの割合で灌注処理した。

調査: 定植 11、21、30 日後に、各区 10 株について、幼虫、蛹個体数を調査した。薬害の有無は随時観察した。

(2) 平成 21 年に野菜花き試験場で実施した試験では、処理（定植）21 日後まで防除効果が認められた。薬害は認められなかった。

表 2 カリフラワーのコナガに対するオンコルマイクロカプセルの防除効果(平成 21 年、野菜花き試験場)

| 供試薬剤 | 希釈 倍数 | 定植 7 日後 | | | 定植 14 日後 | | | 定植 21 日後 | | | 定植 28 日後 | | | 薬害 |
|------------------|----------|---------|---|------------|----------|---|------------|----------|---|--------------|----------|----|---------------|----|
| | | 幼虫 | 蛹 | 合計 | 幼虫 | 蛹 | 合計 | 幼虫 | 蛹 | 合計 | 幼虫 | 蛹 | 合計 | |
| オンコルマイク ロカプセル | 200 | 0 | 0 | 0 (0) | 0 | 0 | 0 (0) | 7 | 0 | 7 (17.5) | 79 | 5 | 84 (68.3) | なし |
| 無処理 | - | 2 | 0 | 2 (100) | 2 | 0 | 2 (100) | 36 | 4 | 40 (100) | 104 | 19 | 123 (100) | |

注) 数値は 60 株当たり個体数。() 内は密度指数。密度指数 = (処理区密度 / 無処理区の密度) × 100

場所: 野菜花き試験場内(長野市松代)。

耕種概要: 品種「スノークラウン」、定植 5 月 19 日。栽植密度: 畝幅 70cm × 株間 40cm。区制・面積: 1 区 9 m²、32 株、3 連制。

処理: 5 月 19 日(定植当日)にセルトレイ(128 穴)当たり、0.5 リットルの割合で灌注処理した。

調査: 定植 7、14、21、28 日後に各区 20 株について、幼虫、蛹個体数を調査した。薬害の有無は随時観察した。

6 その他特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

野菜・花きの病害虫防除農薬の効果試験、平成 16、21 年度(2004、2009 年度)、民間受託